

令和7年
2025年

12月25日
木曜日

第11862号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー 八幡平ポークグループ 阿部正樹組合長理事……………P2~3
- ▶ [牛・豚・鶏肉需給予測] 1月期末在庫、牛は5・9%増だが豚、鶏は大幅減……………P3
- ▶ ~今年の家計調査振り返り~ 豚・鶏肉の単価アップ、牛肉消費は停滞感継続……………P4
- ▶ 英国と米国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止…P4
- ▶ 京都府亀岡市で鳥フル、採卵鶏約29万羽殺処分一農水省……………P4
- ▶ デ・パラシオ駐日スペイン大使が鈴木農相を表敬訪問、ASF発生後の対応に感謝……………P5
- ▶ 12月の米フィードロット飼養頭数は前年比2%減の1172万7千頭……………P5
- ▶ 豪州、州政府が相次ぎバーチャルフェンス技術を合法化、家畜管理の効率化へ……………P6
- ▶ [JCA・11月] 豚肉、鶏肉、加工品動き良くも牛肉鈍く3・1%増……………P7
- ▶ [POSランク11月その他加工肉製品]「ほぐしサラダチキン」が首位……………P7
- ▶ [POSランク11月冷凍畜産素材]「北海道ジンギスカンR 冷凍」が首位……………P7
- ▶ 日本畜産物輸出促進協会が1月14日、バンコクで和牛セミナー開催……………P7
- ▶ その他加工肉製品11月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……………P8
- ▶ 冷凍畜産素材11月POS売れ筋品目 ベストランキング月次……………P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]24日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]24日…P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
八幡平ポークグループ 阿部正樹組合長
理事

…詳細はP2~3

[牛・豚・鶏肉需給予測] 1月期末在庫、
牛は5・9%増だが豚、鶏は大幅減

…詳細はP3

職人の技を次世代へ

新刊

改訂新版

牛枝肉・部分肉の
分割と商品化

職人の技

カラー
写真

丁寧な
解説

B5判/216頁

定価 5,500円 (税込)
送料別

食肉通信社

大手豚肉サプライヤーインタビュー 八幡平ポークグループ 阿部正樹組合長理事

—グループの生産拠点を教えてください。

八幡平ポークグループの基盤である農事組合法人八幡平養豚組合は1969年、秋田県鹿角市に設立しました。小規模養豚から始まり、多くの方からのご指導やご協力のおかげで、システムチックな生産形態を構築できました。

農場は、鹿角市に谷内農場(本社事務所)、男平農場、あけぼの農場、大林農場、乳牛山GGP農場の5農場を運営し「八幡平ポーク」を生産しています。

秋田県の農場ではハイポー豚を種豚とし、子豚後期から穀物を主原料とした配合飼料をエキスパンダー加工したものを給餌しています。

さらに閉鎖型GP(原種農場)として稼働していた乳牛山農場にBio Hypor(バイオセキュリティー&ハイポーの育成技術)を導入し、閉鎖型GGP(原原種)農場にしました。そのメリットとして、外部からの生体の導入を繰り返さないことでバイオセキュリティーを強化しつつ、優れた遺伝能力の種豚を生産することが可能となりました。

GGP用の精液は、ハイポーAIセンターから供給を受けています。高品質で安定した多くの肉豚を生産するため、世界的なデータベースでBLUP育種価を算出。自家農家に合ったベストな種豚を選抜しています。

一方、岩手県洋野町に八幡平ファーム、八幡平洋野牧場、ジョイフルファーム八幡平の3法人を運営し、SPF豚である「八幡平ポークあい」の生産に取り組んでいます。岩手県内3農場ではSPF認定農場としての防疫管理を徹底し、発育に合わせた快適な成育環境を実現するため、畜産先進国ドイツのビッグダッチマン製環境自動制御システムを導入し、発育にバラツキの少ない豚肉を供給しています。

全農ハイコープSPF豚を種豚とし、完全配合飼料を使用して、食品残さなどの副原料を使用しないリキッドフィーディングを行っています。

—出荷頭数について教えてください。

八幡平ポークグループは母豚数約6千頭規模、年間出荷は約16万頭になりました。流通に関しては、秋田県内で生産された肉豚は主に秋田県食肉流通公

社とミートランドでと畜され、秋田県内を中心に販売。一方、岩手県内で生産された豚肉はいわちく、久慈広域処理場でと畜され、主に首都圏に向けて販売しています。



夏場の記録的な高温の影響から出荷頭数に影響が出ています。そのため今後の生産頭数の減少も心配しています。当農場は北東北という場所から、冬場の対策は万全を期していますが、今後はこれまでに以上に、暑さ対策も安定経営のためには必要だと考えています。

—飼料価格の高騰など懸念されることをおきかせください。

年間を通じて枝肉相場は高値で安定していましたが、生産コストは配合飼料価格の高止まりや円安、さらには資材・光熱費の高騰など外的要因で経営が圧迫され、先行きが見えない値上がりにより危機感を募らせています。品質と経営を両立させるため、配合飼料をむだなく使うための肥育管理を今一度、徹底します。さらに可能な限り飼料効率向上のための対策を検討しています。

—直営店についておきかせください。

地域住民に安全でおいしい豚肉を還元するという思いから、第1号店「とことんとん八 八幡平本店」をオープン。直営店という形で地元の人々に還元し、地域から愛される店舗を目指し、おかげさまで20年が経過しました。現在ではグループ経営の直売店を秋田県鹿角市に2店舗、大館市に1店舗、飼料の供給拠点である青森県八戸市に1店舗を展開しており、地元の消費者を中心に喜ばれています。

—今後の取り組みについて教えてください。

ジョイフルファーム八幡平が軌道に乗り、生産頭数が増頭されたことで、これまで以上に「おいしい豚肉」「安全で安心な豚肉」「潤沢でバラツキのない豚肉」の生産を実現するために、豚の健康管理にこだわった

「元気な豚」を生産していきます。

また、国際情勢にも迅速に対応することが求められています。さらに、環境対策に重点を置いた地域密着

の循環型農場経営に取り組み、「八幡平ポーク」「八幡平ポークあい」の生産から販売まで、多くの皆さまに喜んでいただけるよう、一貫経営に取り組みます。

[牛・豚・鶏肉需給予測] 1月期末在庫、牛は5・9%増だが豚、鶏は大幅減

農畜産業振興機構は24日、2026年1月～25年11月の牛・豚・鶏肉需給予測を発表した。

それによると、12月の牛肉出荷頭数は乳用種は減少するが、和牛と交雑種は増加が見込まれることから、前年同月を4・1%上回ると予測。1月は、交雑種の出荷頭数は増加するものの、和牛と乳用種の出荷頭数は減少が見込まれることから、前年同月を5・1%下回り、3カ月平均(11～1月)でも、出荷頭数、生産量共に前年同期を下回ると予測している。品種別出荷頭数をみると、12月は和牛が5万5900頭、交雑種が2万5800頭、乳用種が2万2700頭、1月は和牛が3万8500頭、交雑種が2万1100頭、乳用種が2万2千頭になると予測している。

また、輸入量は12月が4万1100t(4・8%増)、1月が3万4500t(6・0%増)と予測。内訳をみると、12月は冷蔵品が1万3700t(14・3%減)、冷凍品が2万7400t(18・0%増)、1月は冷蔵品が1万2300t(7・9%減)、冷凍品が2万2200t(15・8%増)と予測している。冷蔵品は、国内需要が低調な中、現地価格の高止まり等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれることなどから、12月、1月共に前年同月を下回ると予測。冷凍品は、豪州産のうち主に加工用のひき材などに使用されるトリミングの輸入量の増加が見込まれること等から、12月、1月共に前年同月を上回り3カ月平均でも、前年同期を大きく上回ると予測している。

その結果、期末在庫は12月、1月共に前年同月をやや上回ると予測している。

豚肉の生産量については、12月は8万1300t(0・8%増)と前

年同月を上回るが、1月は7万5400t(5・6%減)と、前年同月を下回ると予測している。輸入量については、12月は6万7700t(11・5%減)、1月は6万5900t(18・1%減)と予測。冷蔵品は、12月は、前年の輸入量が通関のずれ込み等を受け高水準となったこと等から、前年同月を下回る一方、1月は主要輸入国であるカナダ産とメキシコ産の増加が見込まれることなどから、前年同月を上回り、3カ月平均でも、前年同期をやや上回ると予測する。冷凍品は、国内の輸入品在庫が高水準にあり、輸入量が減少傾向にあった中で、アフリカ豚熱発生によるスペイン産の輸入一時停止措置により、12月には同国産の一部で通関遅延が生じたほか、1月以降には直接的な影響も見込まれることから、12月、1月共に前年同月を大幅に下回り、3カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

その結果、期末在庫は12月、1月ともに前年同月を下回ると予測している。

鶏肉の生産量は、12月は15万5400t(0・7%増)、1月は13万7700t(1・0%減)と予測。輸入量は、12月が4万7300t(5・3%減)、1月は4万7900t(8・5%減)と予測。輸入量については、主要輸入国であるブラジルやタイにおいて、労働者不足などにより生産量が減少した影響などを受けて、12月、1月ともに前年同月を下回り、3カ月平均でも、前年同期を下回ると予測している。

その結果、期末在庫は12月、1月共に前年同月を大きく下回ると予測している。

牛・豚・鶏の需給予測 (単位:頭、トン)

	12月		1月		
	出荷頭数	前年比	出荷頭数	前年比	
牛 計	104,900	104.1	82,100	94.9	
和牛	55,900	107.8	38,500	92.5	
交雑牛	25,800	110.2	21,100	103.0	
乳牛	22,700	90.7	22,000	92.0	
豚	1,475,000	100.7	1,342,000	95.6	
部分肉の需給予測	量	前年比	量	前年比	
牛肉	生産量	34,300	106.5	26,400	96.7
	輸入量	41,100	104.8	34,500	106.0
	出回り量	75,100	97.8	62,300	98.2
	月末在庫量	145,700	103.7	144,200	105.9
豚肉	生産量	81,300	100.8	75,400	94.4
	輸入量	67,700	88.5	65,900	81.9
	出回り量	164,000	99.4	152,300	98.6
鶏肉	生産量	204,200	98.1	193,200	90.2
	輸入量	155,400	100.7	137,700	99.0
	出回り量	47,300	94.7	47,900	91.5
	月末在庫量	212,500	101.2	192,100	100.8
輸入量の内訳(部分肉ベース)					
牛肉	冷蔵	13,700	85.7	12,300	92.1
	冷凍	27,400	118.0	22,200	115.8
	合計	41,100	104.8	34,500	106.0
豚肉	冷蔵	33,700	97.5	33,000	102.9
	冷凍	34,000	81.0	32,900	67.9
	合計	67,700	88.5	65,900	81.9

～今年の家計調査振り返り～豚・鶏肉の単価アップ、牛肉消費は停滞感継続

総務省統計局が公表した今年の家計調査報告(2人以上世帯=1世帯当たり・品目別)のうち10月分までを振り返ると、肉類計の支出金額は2月以外の全ての月で増加した。また、生鮮肉計は支出金額が1～2月以外で増加した一方、購入量は多くの月で前年割れとなり、価格高騰、購買行動の鈍化を物語る統計となった。

肉類計、生鮮肉計の支出金額は、いずれも年計で2023年、24年と続けて前年から増加している。今年も10月の段階では共におよそ3%増と、残る11月、12月を合わせても、引き続き増加となる可能性が高いだろう。

1～10月の肉類計の支出金額は8万2338円(前年同期比2・6%増)、生鮮肉計は6万6928円(2・8%増)。畜種別にみると、牛肉は支出金額が1万6127円(3・3%減)、購入量が4334g(3・4%減)と、前年同様、両項目が共に減少した。

物価高が続く社会で、消費者の節約志向は相変わらずで、依然として和牛をはじめとする牛肉消費の伸び悩みがみられる。値上げで消費減退を招くのは避けたいところだが、コスト高などが顕著な状況下、100g単価は372・1円(0・5円高)とわずかに上昇している。

豚肉は支出金額が2万8944円(4・3%増)、購入量が1万8184g(1・1%増)。100g単価は159・2円(4・9円高)と、前年高騰していた数字をさらに上回った。ただ、主要3畜種で、購入量が増えたのは豚肉だけだ。

鶏肉は支出金額が1万6282円(5・7%増)と大幅に増えたが、購入量は1万5192g(0・3%減)とやや減少。昨年は牛肉からの需要のシフトが見受けられたが、今年は鶏肉も高く、それ以上の増加とはならなかった。なお、100g単価は107・2円(6・1円高)と大きな上昇がみられる。

その他、加工肉全体の支出金額は1万5412円(2・0%増)と増加。このうちハムとベーコンは支出金額、購入量が共に前年を下回ったが、ソーセージは両項目で前年超えを記録した。100g単価は、3品目の全てが前年に続いて上昇。やはり、今春までの7回にわたる値上げの結果だろう。

また、調理食品計は主食的調理食品、他の調理食品共に全ての月で前年を上回り、他の調理食品のうち焼き鳥、冷凍調理食品が前年以上を毎月キープした他、カツレツやハンバーグもおおむね前年超えを維持した。

英国と米国で鳥フル、家禽肉等輸入一時停止

農水省動物検疫所は、英国と米国の家禽飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いで確認されていることから、次の地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等の輸入を一時停止したと発表した。

[英国] ミッドロージアン州、グロスターシャー州、

トウィーデール州、エディンバラ市(輸入停止措置日=19日)、オックスフォードシャー州、ノーサンプトンシャー州(22日)

[米国] ノースカロライナ州全域(2日)、メイン州ペノブスコット郡(3日)、カンザス州スミス郡(18日)、イリノイ州ジェファーソン郡(23日)

京都府亀岡市で鳥フル、採卵鶏約29万羽殺処分―農水省

農水省は24日、京都府亀岡市の家禽農場で、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜(今シーズン国内9例目)が確認されたことを発表した。

これを受け、同農場の採卵鶏約29万羽が殺処分となる。

デ・パラシオ駐日スペイン大使が鈴木農相を表敬訪問 ASF 発生後の対応に感謝

デ・パラシオ駐日スペイン大使は23日、鈴木憲和農水大臣を表敬訪問した。

鈴木農相は「以前、バスク州を訪問した際、スペインが食の分野で頑張っている状況を目の当たりにした。今後連携を強化していきたいとおもっている。グリーンエキスポにも参加いただけること、大変嬉しく思っている。お力添えをお願いしたい」と述べた。これに対し、デ・パラシオ駐日スペイン大使は「われわれは農業大国であるので、グリーンエキスポには必ず参加しなくてはならないと思っている」と答えた。

また、スペインでのASFの発生について、「数週間前、スペイン全土を驚かせたニュースが飛び出した。31年ぶりにASFの発生が確認された。農水省とスペインの農業省で調整がスムーズに行われ、専門家による情報交換を行っている。これは、消費者の安心に



も繋がることだと思う」と感謝を伝えた上で、「スペインは農業大国であり、欧州にも農産物を輸出しているが、1994年以降、ASFが発生することはなかった。これは、しっかりと衛生管理によって達成できたものである」と説明した。

12月の米フィードロット飼養頭数は前年比2%減の1172万7千頭

米国農務省(USDA)が公表した12月1日現在の牛フィードロット飼養頭数(1千頭以上収容)は1172万7千頭と前月より2万1千頭増加したが、前年同月から2%減少した。州別の飼養頭数は表のとおり。

11月の導入頭数は、前月より44万5千頭減少して159万5千頭となり、前年同月からは11%減少した。これは1996年の統計開始以来、11月の導入頭数としては最低の数字となった。導入頭数を体重別にみると600ポンド未満が43万5千頭、600~699ポンドが37万5千頭、700~799ポンドが32万頭、800~899ポンドが25万5千頭、900~999ポンドが13万頭、1千ポンド以上は8万頭となった。

また、11月の出荷頭数は152万1千頭と前月より17万7千頭減少し、前年同月からは12%減少した。これも、調査開始以来11月としては2番目に低い数字となった。

単位: 頭数は千頭、割合はパーセント

州	2024/12/1	2025/11/1	2025/12/1	前年比(%)	前月比(%)
アリゾナ	232	211	212	91	100
カリフォルニア	510	485	495	97	102
コロラド	1,060	920	910	86	99
アイダホ	330	345	345	105	100
アイオワ	660	700	700	106	100
カンザス	2,420	2,460	2,440	101	99
ミネソタ	105	-	-	-	-
ネブラスカ	2,600	2,640	2,670	103	101
オクラホマ	365	335	340	93	101
サウスダコタ	235	235	255	109	109
テキサス	2,880	2,630	2,610	91	99
ワシントン	260	295	295	113	100
その他	325	450	455	140	101
米国	11,982	11,706	11,727	98	100

豪州、州政府が相次ぎバーチャルフェンス技術を合法化 家畜管理の効率化へ

豪州ビクトリア (VIC) 州はこのほど、ニューサウスウェールズ (NSW) 州が、相次いで州法である動物虐待防止法を改正し、バーチャルフェンス技術 (以下「VF技術」という) の商業利用を合法化したことを発表した。VF技術とは、GPS付きの首輪から発生する振動・音・電流により牛を誘導する技術を指し、実際の柵の設置が不要になることから、「バーチャルフェンス」と呼ばれている。隣国ニュージーランド (NZ) では、VF技術が全国的に利用可能となっており、VF技術デバイスの販売などを行うハルター社によると、約1千戸の酪農及び肉用牛生産者が利用しているとされている。豪州でもタスマニア (TAS) 州、クイーンズランド州、西オーストラリア (WA) 州などでは以前から商業利用が可能だったが、酪農・肉用牛生産が盛んなVIC州、NSW州でも利用解禁を求める声が高まっていた。業界団体からは今回の決定を歓迎する声が上がっており、ビクトリア州農民連盟のホスキング会長は「この決定はVIC州全域の酪農・肉用牛生産者にとって農場生産性とアニマルウェルフェアの面で真の利益をもたらす大きな前進だ」と述べている。

アニマルウェルフェアに対する懸念と各州の対応として、VF技術は以前から放牧家畜管理の効率化、生産性の向上に有望な技術と業界から期待されていたが、電気刺激によるアニマルウェルフェアへの懸念などから、VIC州およびNSW州ともに慎重な検討を進めてきた。VIC州では、州政府が所有・運営する研究実証農場エリンバンク・スマートファーム (Ellinbank SmartFarm) で約1年かけてVF技術の実証試験を行い、得られた結果を踏まえ、許可制度の導入などを含む動物虐待防止規則改正案を策定した。また、NSW州でも、州議会の投資・産業・地域開発委員会が2024年10月に公聴会などを通じて得られた知見を基に州政府へ勧告を行い、同勧

告から約1年をかけ、動物虐待防止規則の改正および「NSW州牛用VF技術アニマルウェルフェアガイドライン」の発表に至っている。

現在、豪州の主要な製造業者にはVF技術デバイスを提供する企業として、上述のハルター社に加え、同じくNZ企業であるギャラガー社の2社が存在する。TAS州ではハルター社の製品が普及しており、WA州ではギャラガー社の製品のみ商業利用が認められている。どちらの企業もVIC州にVF技術デバイスの承認申請を提出する予定としており、既にVIC州とNSW州の酪農・肉用牛生産者約100戸が、ハルター社のウェブサイトを通じて導入を希望する登録を行っているとされている。一方、価格設定に対する懸念やメンテナンスの必要性などから導入に慎重な声も聞かれており、特に牛群規模が大きい肉用牛農場では普及が遅れるという見方もある。

世界的にみれば、米国・欧州展開を目指すノルウェー企業のノフェンス社や、動物用医薬品大手MSDアニマルヘルスが買収した米国企業のヴェンス社などもVF技術デバイスを展開しており、今後、豪州市場にも本格的に参入する可能性がある。なお、ヴェンス社の製品は既に豪州の一部で販売されている。(農畜産業振興機構)

V F 技術利用に関する各州の規制の主な内容

項目	V I C 州	N S W 州
関係法令、ガイドライン	・動物虐待防止規則2019	・動物虐待防止規則2025 ・NSW州牛用VF技術動物福祉ガイドライン
VF技術デバイスの事前承認	・必要 同デバイスの製造業者は、州政府に事前の申請が必要。 電気刺激のレベルデータなどの提出が必須	・なし
対象種および年齢要件	・牛のみ利用可 ・6カ月齢以上で利用可	・牛のみ利用可 ・牛の状態が利用に適していること (具体的な年齢基準等は明記されず)
使用者要件	・同デバイス利用に関する訓練の受講 ・動物福祉を妨げる利用方法の禁止 ・定期的な家畜の健康状態の評価	・同デバイス利用に関する訓練の受講 ・動物福祉ガイドラインの遵守 ・家畜と同じ敷地内にいる時のみ利用可
その他要件	・農場の境界線には物理的な柵が必要 (バイオセキュリティの観点からも撤去不可) ・製造業者の記録保持義務	

資料：VIC州政府「Prevention of Cruelty to Animals Regulations 2019」、NSW州政府「Prevention of Cruelty to Animals Regulation 2025」、「NSW Animal Welfare Guide for Virtual Fencing of Cattle」などを基に筆者作成

【JCA・11月】豚肉、鶏肉、加工品動き良くも牛肉鈍く3・1%増

日本チェーンストア協会がこのほどにまとめた販売統計速報によると、11月の食料品合計販売金額7496億4790万円(既存店ベースの前年同月比2・7%増)だった。そのような中、畜製品の売り上げは923億524万円(3・1%)だった。豚肉、鶏肉の動きは良かったものの、牛肉の動きは鈍かった。鶏卵、ハム・ソーセージの動きは良かった。

総菜は993億2468万円(1・9%増)で、温総菜は、から揚げ、天ぷら、焼き魚、中華、ピザ、煮物などはまずまずの動きだったが、オードブル、フライ、焼き鳥などの動きは鈍かった。要冷総菜は、和・洋総菜ともにまずまずの動きだった。米飯、すしの動きは良かった。

その他の食品(3・9%増)は、米、乳製品、乳飲料、ドリンクヨーグルト、冷凍食品、麺類、食パン、餅、カレーレトルト、インスタントコーヒー、チョコレート、和菓子、ビスケット、グミなどの動きは良かったが、牛乳、飲料、アイスクリーム、シリアル、インスタントラーメン、菓子パン、練製品、豆腐、漬物、フローズンデザート、生半焼菓子、ワイン、スピリッツ、焼酎、ビールなどの動きは鈍かった。

農産品(前年並み)は、じゃがいも、玉ねぎ、長ねぎ、にんじん、レタス、ブロッコリー、さつまいも、カボチャ、里芋、菌茸類などの動きはまずまずだったが、キャベツ、大根、白菜、なす、れんこん、ほうれん草、カット野菜などの動きは鈍かった。

【POS ランク 11月その他加工肉製品】「ほぐしサラダチキン」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した11月POS/その他加工肉製品売れ筋ランキングによると、シジシージャパン「ほぐしサラダチキン」(100g)が首位だった。

2位は日本ハム「ローストサラダチキン プレーン 糖質ゼロ」(52g×3)、3位はシジシージャパン

「サラダチキンプレーン」(125g)、4位はプリマハム「サラダチキン3連プレーン」(180g)、5位はイオントップバリュ「イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット」(110g)だった。対象店舗1066店舗の総販売金額は3億1455万8101円。

【POS ランク 11月冷凍畜産素材】「北海道ジギスカンR 冷凍」が首位

(株)KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した11月POS/冷凍畜産素材売れ筋ランキングによると、伊藤ハム「北海道ジギスカンR 冷凍」(200g×3)が首位だった。

2位はマツオ「味付特上ラム」(400g)、3位は幸

栄物産「国産豚肉小間切れ 冷凍」(750g)、4位は全農チキンフーズ「国産若鶏むね肉 冷凍品」(2kg)、5位は東日本フード「醤油ジギスカン」(400g)だった。対象店舗1066店舗の総販売金額は3057万2368円。

日本畜産物輸出促進協会が1月14日、バンコクで和牛セミナー開催

一般(社)日本畜産物輸出促進協会(井出道雄会長)は2026年1月14日、タイの首都バンコクのオークラプレステージバンコクで、日本産和牛セミナーを開催する。現地の食肉事業者、レストラン関係者、小売

事業者などを対象に、日本産和牛の品質の高さや新たな魅力を訴求するとともに、QRコードを用いた和牛品質情報提供に関する講演やカッティング技術・調理実演、試食などを行う。

その他加工肉製品11月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年11月 対象店舗数:1,066店舗 品目合計:3億1,455万8,101円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均 価格	金額 シェア	数量 シェア	販売店率
1	シジシージャパン ほぐしサラダチキン 100g	5,980,201	28,489	209.9	1.9	3.1	26.3
2	日本ハム ローストサラダチキン プレーン 糖質ゼロ 52g×3	5,159,717	18,383	280.7	1.6	2.0	40.2
3	シジシージャパン サラダチキンプレーン 125g	4,763,804	23,358	204.0	1.5	2.5	26.4
4	プリマハム サラダチキン3連プレーン 180g	4,584,115	16,601	276.1	1.5	1.8	31.1
5	イオントップバリュ イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット 110g	4,526,318	8,590	526.9	1.4	0.9	9.5
6	伊藤ハム ソラチのタレ使用ジギスカン 180g×3	4,355,898	5,216	835.1	1.4	0.6	5.0
7	恵風 恵風 牛すじ串 4本	3,731,383	9,048	412.4	1.2	1.0	7.9
8	プリマハム サラダチキン3連ハーブ 180g	3,645,952	13,016	280.1	1.2	1.4	29.5
9	丸大食品 サラダチキン切落し プレーン 100g	3,645,504	17,525	208.0	1.2	1.9	36.5
10	紀文食品 牛すじ 3本 54g	3,574,591	9,169	389.9	1.1	1.0	6.9
11	日本ハム ローストサラダチキン ハーブ 糖質ゼロ 52g×3	3,543,928	12,618	280.9	1.1	1.4	37.1
12	米久 くらし 肉だんご 330g	3,294,056	11,773	279.8	1.1	1.3	5.8
13	プリマハム 香薫ミニステーキ 86g	3,120,853	14,199	219.8	1.0	1.5	42.1
14	伊藤ハム ソラチオリジナルのたれ使用 ロースジギスカン 200g×3	2,981,451	2,819	1,057.6	1.0	0.3	7.7
15	丸協食産 牛シロモツ 400g	2,964,981	4,140	716.2	0.9	0.5	8.1
16	丸大食品 サラダチキン切落し ハーブ 100g	2,949,110	14,156	208.3	0.9	1.5	35.9
17	紀文食品 おでんや 味がしみ込ませた牛すじ串3本 65g	2,936,384	6,128	479.2	0.9	0.7	21.7
18	カネテツデリカフーズ カネテツ 味付け牛すじ肉真空 3串	2,728,516	5,350	510.0	0.9	0.6	13.8
19	伊藤ハム チキンナゲット超大容量ジッパー 610g	2,671,073	4,402	606.8	0.9	0.5	12.4
20	イオントップバリュ イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット 60	2,669,843	7,608	350.9	0.9	0.8	9.6
21	伊藤ハム こてっちゃん もつ鍋醤油味 480g	2,577,991	6,728	383.2	0.8	0.7	44.1
22	プリマハム 合鴨スモーク 170g	2,506,929	7,528	333.0	0.8	0.8	34.7
23	西日本パッカー 西日本パッカー 牛すじ	2,414,697	3,178	759.8	0.8	0.3	2.3
24	奥野壽久商店 牛すじ 18g×4	2,316,523	5,389	429.9	0.7	0.6	4.5
25	スターゼン ふんわりローストビーフ切り落し 90g	2,279,075	3,879	587.5	0.7	0.4	3.2
26	シジシージャパン サラダチキンブラックペッパー 125g	2,243,591	11,143	201.4	0.7	1.2	24.6
27	イオントップバリュ イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット 187g	2,204,919	2,618	842.2	0.7	0.3	6.0
28	伊藤ハム こてっちゃん もつ鍋味噌味 480g	2,179,388	5,719	381.1	0.7	0.6	42.1
29	シジシージャパン サラダチキンハーブ 125g	2,111,265	10,562	199.9	0.7	1.1	25.2
30	丸協食産 ローストビーフ和風仕立て 90g	2,106,380	5,017	419.9	0.7	0.5	5.8
31	丸大食品 サラダチキン切落しスモーク 100g	2,079,184	9,932	209.3	0.7	1.1	27.0
32	プリマハム 糖質ゼロ サラダチキン プレーン 100g	2,062,095	8,380	246.1	0.7	0.9	24.1
33	丸協食産 焼肉用牛ホルモン 200g	2,052,162	5,042	407.0	0.7	0.5	9.3
34	プリマハム 炭火焼ローストビーフ 120g	2,026,786	2,858	709.2	0.6	0.3	14.2
35	日本ハム 蒲焼鶏スライス 103g	1,974,370	7,589	260.2	0.6	0.8	13.8
36	プリマハム ヘルシー 糖質ゼロ サラダチキン スモーク 100g?	1,946,926	7,985	243.8	0.6	0.9	22.8
37	星山商店 白ホルモン味付け 400g	1,742,783	1,888	923.1	0.6	0.2	1.8
38	フィード・ワンフーズ やわらか仕上げ国産豚白もつ 800g	1,700,082	1,932	880.0	0.5	0.2	1.4
39	アマタケ サラダチキン プレーン 100g	1,665,160	6,141	271.2	0.5	0.7	13.1
40	伊藤ハム 糖質0 サラダチキン ハーブ 168g	1,659,497	5,755	288.4	0.5	0.6	12.3
41	シジシージャパン サラダチキン スモーク 110g	1,610,309	8,057	199.9	0.5	0.9	19.7
42	日本ハム ブラックフライデーFUNBA g 1袋	1,569,581	1,587	989.0	0.5	0.2	6.7
43	西日本パッカー 国産牛すじ	1,518,835	2,723	557.8	0.5	0.3	2.5
44	丸大食品 お徳用チキンナゲット 480g	1,499,379	3,311	452.9	0.5	0.4	10.1
45	プリマハム 合鴨バストラミ 170g	1,485,434	4,610	322.2	0.5	0.5	30.0
46	シジシージャパン サラダチキン チャーシュー 125g	1,481,259	7,450	198.8	0.5	0.8	18.8
47	イオントップバリュ イオン手仕込みローストビーフシルキーカット 110g	1,475,489	2,931	503.4	0.5	0.3	9.5
48	丸協食産 コリコリ塩ホルモン 200g	1,462,823	4,213	347.2	0.5	0.5	13.7
49	丸大食品 サラダチキンロースト 黒胡椒 78g	1,413,530	6,559	215.5	0.5	0.7	27.8
50	伊藤食品 牛スジ 袋 8本	1,405,786	2,957	475.4	0.5	0.3	1.4

冷凍畜産素材11月POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年11月 対象店舗数:1,066店舗 品目合計:3,057万2,368円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	伊藤ハム 北海道ジンギスカンR 冷凍 200g×3	1,943,477	1,782	1,090.6	6.4	3.8	2.9
2	マツオ 味付特上ラム 400g	1,767,403	1,135	1,557.2	5.8	2.4	6.3
3	幸栄物産 国産豚肉小間切れ 冷凍 750g	1,150,046	1,195	962.4	3.8	2.5	3.5
4	全農チキンフーズ 国産若鶏むね肉 凍結品 2kg	1,132,728	872	1,299.0	3.7	1.9	1.9
5	東日本フード 醤油ジンギスカン 400g	963,104	1,147	839.7	3.2	2.4	8.7
6	ブラジル マテ茶鶏もも 2kg	961,597	742	1,296.0	3.2	1.6	0.9
7	プリマハム ラムしゃぶ 250g	878,726	902	974.2	2.9	1.9	2.0
8	坂口精肉店 豚ジンギスカン 400g	690,050	1,017	678.5	2.3	2.2	4.3
9	プリマハム ラムショルダーNZ産 500g	650,098	331	1,964.0	2.1	0.7	1.7
10	エイメイフーズ 国産若鶏ささみ 凍結品	592,407	593	999.0	1.9	1.3	2.3
11	JA全農ミートフーズ 国産豚コース味噌漬 西京漬 170g	543,734	1,653	328.9	1.8	3.5	4.6
12	長沼成吉思汗 ロースジンギスカ 300g	512,973	536	957.0	1.7	1.1	1.3
13	ホクレン農業協同組合連合会 ホクレンの豚ジンギスカン特製しょうがタレ 800g	498,794	553	902.0	1.6	1.2	2.5
14	東日本フード ファイターズ ジンギスカン	476,366	742	642.0	1.6	1.6	2.6
15	ニチレイフレッシュ 冷凍 国産 牛すじ 300g	476,174	708	672.6	1.6	1.5	2.2
16	ジャパンファーム 鹿児島産若どりもも肉 1kg	469,593	414	1,134.3	1.5	0.9	0.2
17	ジャパンファーム 鹿児島産若どりむね肉 1kg	460,333	591	778.9	1.5	1.3	0.2
18	幸栄物産 国産豚ミンチZ 冷凍 820g	402,906	418	963.9	1.3	0.9	1.2
19	幸栄物産 国産 豚肉ばら切りおとし 冷凍 500g	379,945	393	966.8	1.2	0.8	1.5
20	マルニ食品 ホルモン焼 160g	368,369	1,235	298.3	1.2	2.6	4.5
21	ホクレン農業協同組合連合会 山中クリーンポーク×ソラチ共同開発 豚ジンギスカン 500g	361,114	596	605.9	1.2	1.3	1.6
22	JA全農ミートフーズ 国産豚コース味噌漬 九州味噌使用 170g	349,615	944	370.4	1.1	2.0	3.3
23	アンドウフーズ 国産牛小腸カット 冷凍 180g	349,068	617	565.8	1.1	1.3	0.6
24	昭和食品 国産もも串冷凍 10本	328,426	458	717.1	1.1	1.0	1.4
25	坂口精肉店 塩ホルモン 200g	298,639	982	304.1	1.0	2.1	3.2
26	NTCデリバ 冷凍馬肉ユッケ 50g	292,536	709	412.6	1.0	1.5	3.5
27	日本ピュアフード 十和田バラ焼 250g	283,695	492	576.6	0.9	1.1	4.8
28	コープデリフーズ (I) 牛スジ (冷凍)	278,456	710	392.2	0.9	1.5	2.0
29	栗食 冷凍 国産豚ミンチ肉 400g	274,749	551	498.6	0.9	1.2	1.7
30	マツオ ジンギスカン 味付け特上ラム 冷凍 350g	269,515	201	1,340.9	0.9	0.4	3.9
31	佐久精肉店 みしま味付ジンギスカン 600g	268,509	243	1,105.0	0.9	0.5	0.1
32	千興ファーム 鮮馬刺しユッケ 50g	258,258	382	676.1	0.8	0.8	5.4
33	NTCデリバ スライス 馬刺し 冷凍 50g	253,755	415	611.5	0.8	0.9	6.3
34	潤屋 マトンロース 500g	240,918	158	1,524.8	0.8	0.3	1.9
35	いわちく 国産豚味付け生ホルモンミックス 400g	239,384	460	520.4	0.8	1.0	2.3
36	長沼成吉思汗 マトン味付け 300g	239,137	255	937.8	0.8	0.5	1.1
37	千興ファーム 鮮馬刺しカナダ産赤身スライス 40g	238,351	283	842.2	0.8	0.6	5.0
38	大成 馬刺しスライス生食用 40g	211,354	436	484.8	0.7	0.9	2.8
39	NTCデリバ 2種スライス(モモ・バラ) 70g	208,177	235	885.9	0.7	0.5	2.8
40	阿部繁孝商店 あべどり 鶏ガラ 1羽	201,521	2,253	89.5	0.7	4.8	3.5
41	昭和食品 国産鶏もも串 袋 8本	197,907	333	594.3	0.7	0.7	1.9
42	米谷産業 北海道産 牛すじ肉 冷凍 130g	194,668	466	417.7	0.6	1.0	2.5
43	マツオ 味付ラム 400g	184,309	124	1,486.4	0.6	0.3	2.5
44	東日本フード 味噌ジンギスカン380g	184,069	236	780.0	0.6	0.5	2.6
45	ニチレイフレッシュ 冷凍 国産 牛小腸 200g	183,528	231	794.5	0.6	0.5	1.5
46	コックフーズ タイ産 合鴨グリラー 1600g	181,360	112	1,619.3	0.6	0.2	0.6
47	プライフーズ 国産若鶏むね肉 冷凍 1kg	175,957	189	931.0	0.6	0.4	1.0
48	プライフーズ プライフーズ 鶏ガラ 冷凍 175g	173,136	1,619	106.9	0.6	3.5	4.4
49	JA全農ミートフーズ 国産豚コースたれ漬 北海道のたれ屋ソラチ使用 170g	171,978	467	368.3	0.6	1.0	1.7
50	日本ホワイトファーム 北海道産若鶏手羽さき冷凍 1kg	170,133	200	850.7	0.6	0.4	1.9

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月24日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 115頭	高値	3,242	2,697	2,190	-	-
		安値	2,123	2,118	2,108	-	-
		平均	2,540	2,277	2,153	2,677	-
	雌 B 3頭	高値	-	2,037	-	-	-
		安値	-	1,961	-	-	-
		平均	-	2,003	-	1,089	-
	去 A 174頭	高値	2,920	2,434	2,208	1,859	-
		安値	2,052	2,052	1,620	1,086	-
		平均	2,445	2,211	2,117	1,523	-
	去 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 30頭	平均	-	1,602	1,480	1,407	-
		頭数	-	8	15	7	-
	雌 C 7頭	平均	-	-	1,358	1,252	-
		頭数	-	-	5	2	-
	去 B 14頭	平均	-	1,686	1,522	1,445	-
		頭数	-	2	7	5	-
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-	
頭数	-	-	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	408 429	925 887	- 319.5	(競り)	(対)	
				-	25	60

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,235	1,648	1,630	1,595	1,329
	B	-	-	1,564	1,437	1,130
和 去	A	2,291	2,110	-	-	-
	B	-	2,177	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	932	880
	C	-	-	-	838	845
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,948	1,686	1,527	1,367	855
	C	-	-	1,400	1,302	-
交 去	B	2,026	1,795	1,575	1,430	-
	C	-	1,512	1,437	1,264	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	624	703	662	554	518
	安値	572	486	434	432	248
	平均	590	534	501	482	454
	頭数	(4)	(270)	(328)	(180)	(105)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 対	高値	-	-	-	-	528
	安値	-	-	-	-	486
	平均	-	-	-	-	522
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(25)

[大阪食肉卸売市場] 12月24日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,490	2,245	2,166	-	-
(頭数)	(9)	(8)	(3)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,486	2,125	2,089	1,662	-
(頭数)	(9)	(5)	(2)	(1)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,707	1,544	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	1,890	1,749	1,570	1,473	-
C	-	-	-	1,463	-
豚	-	613	580	504	482

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月24日	12月23日	(12月累計)
豚	75,600	75,600	1,285,800
成牛計	2,380	3,880	91,420
和牛雌	430	790	23,000
和牛去勢	480	760	25,620
乳牛雌	800	960	13,140
乳牛去勢	160	270	7,530
交雑雌	170	410	9,660
交雑去	310	690	12,330

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月24日

	1,533円	(前日 1,552円)
東京		
大阪	1,435円	(前日 1,662円)

[豚・全農建値] 12月24日

上	中	取引頭数	市況
541円	512円	1,195頭	急落

と畜 売買	牛 -頭 牛 78頭	豚 224頭 豚 184頭	牛概況 豚概況	急落 続落
----------	---------------	------------------	------------	----------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月24日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	557 (563)	460 (469)	615	185	反落
栃木 [地]	- (-)	465 (-)	1,828	15	-
茨城 [地]	534 (557)	520 (538)	1,588	743	下押し
群馬 [地]	489 (522)	400 (458)	2,897	494	反落
さいたま [中]	531 (553)	514 (538)	258	254	反落
東京 [中]	534 (563)	501 (535)	925	887	急反落
横浜 [中]	560 (561)	521 (529)	684	684	もちあい
山梨 [地]	642 (653)	513 (655)	209	121	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	541 (604)	509 (585)	993	228	続落
京都 [中]	- (677)	- (662)	-	-	休市
大阪 [中]	613 (636)	580 (613)	224	171	続落
神戸 [中]	640 (700)	635 (683)	-	99	下押し
岡山 [地]	646 (652)	640 (635)	396	424	弱含み
広島 [中]	615 (633)	586 (594)	335	85	続落
福岡 [中]	591 (614)	556 (587)	582	208	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月17日～12月23日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,528,971 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,246	1,279	1,302	1,281	86,418
うで	750	770	815	773	125,546
ロース	1,026	1,157	1,231	1,149	134,544
ばら	1,188	1,245	1,300	1,253	174,882
もも	729	771	810	765	200,728
ヒレ	1,067	1,119	1,133	1,109	6,457
セット	922	1,037	1,071	1,021	800,396

◇近畿圏 総重量 573,556 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,253	1,350	1,409	1,352	57,084
うで	616	700	737	699	93,338
ロース	1,058	1,203	1,257	1,170	75,512
ばら	1,274	1,393	1,462	1,407	116,290
もも	680	706	734	712	115,262
ヒレ	1,167	1,242	1,300	1,229	10,180
セット	946	1,081	1,167	1,049	105,890

[食鳥正肉日経相場] 12月23日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	714	805	980	201
ムネ	479	537	696	141

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	712	775	1,050	6
ムネ	478	529	613	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月23日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値					
安値					
平均					

23日分は26日掲載

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します